

津波の流木 奏でる音を

中津川で 来月バイオリン演奏会



コンサートの趣旨を青山節児市長(左)に説明する加藤景司社長=中津川市役所で

東日本大震災の津波の流木で作られたバイオリンが奏でられるコンサートが、七月二十日に多治見市文化会館(十九田町)で、二十一日に東美濃ふれあいセンター(中津川市茄子川)で開かれること。

コンサートは、このバイオリンを国内外で千人の奏者が弾く企画である。

さんが被災者を励まし、震災の記憶を風化させまいと製作。裏には岩手県陸前高田市の「奇跡の一本松」が描かれている。

「木魂の会」が昨年三月から開いている。两会場でバイオリン奏者城代さや香さんとピアニスト清水美岐さんが出演。演奏に先立

中津川では、加藤製作所など「KATOグループ」の創業百二五周年記念事業として開かれる。二十七日に加藤景司社長(五十)が市役所で、青山節児市長

に協力を求めた。

二時半、中津川は午後一時。ともに入場料一千円(小学生以下は無料)。問い合わせは、多治見は県倫理法人会(電話058(326)1120、中津川は加藤製作所(電話0573(65)4175)へ。(平野誠也)

ち、木魂の会の又川俊三会長による講演もある。

開演は多治見が午後二時半、中津川は午後二時。

ともに入場料一千円(小学生以下は無料)。問い合わせは、多治見は県倫理法人会(電話058(326)1120、中津川は加藤製作所(電話0573(65)4175)へ。(平野誠也)